ゆうてぃあ
内子町
国際交流協会
の情報誌
VOL.130
HEARTFUL UTIA

事務局　内子分庁３階
☎ 0893（44）2114
fax0893（44）6137
http://utia.jp/

第17回青少年海外派遣事業

派遣生たちの感想を紹介します

12月11～21日の11日間、16人の派遣生がドイツとイギリスを訪問し、全員元気に研修を終えて帰国しました。

一行は姉妹都市であるローテンブルク市で６泊７日のホームステイをしながら町並み保存に関する研修や学校・幼稚園訪問、警察署見学、パン屋さんでのクリスマスクッキー作りなどを体験。その後ロンドンを訪問し、市内見学と自主研修を行いました。

協会では現在、派遣生の感想をまとめた報告集を作成しています。ご希望の人は、お気軽にお問い合わせください。

市庁舎の塔の上から

ドイツでは、ペットボトルやビンを回収する機械が学校やスーパーに設置されていたり、ホストファミリーの家の近くにたくさんのゴミ箱が並んでいてさまざまな種類に分別されていたりと、地球に迷惑をかけないための取り組みがいろいろと行われていました。こういった取り組みを今後の生活に生かしていきたいです。

日本伝統の「折り紙」で交流

ドイツと日本の学校では、教育制度や授業中の様子、休憩時間や放課後の過ごし方など、たくさんの違いがありました。しかし生徒の学習に対する姿勢や友達との会話、スポーツを楽しむところなどは日本と同じだと思いました。ドイツの高校を見学して日本の学校の特徴や外国の学校との違いがよく分かり、良かったと思います。

クッキー作り体験

ローテンブルク市を囲む城壁の中に入ると、素晴らしい情景が広がっていました。内子町の町並み保存は一部のみですが、同市では町の大部分が保存されています。歴史的な町並みの保存には行政の力も大切ですが、何より大切なのは、保存地域やその周辺に住む人々の協力だと思いました。住民と行政が連携し、町並みの修復・保存を行っていくことの大切さを学ぶことができました。

夜のロンドン・ピカデリーサーカスで

一番印象的だったのは特別支援学校です。特別支援学校に通う子は、覚えることが苦手です。なのに、私たちのために一生懸命練習してダンスを披露してくれた時はすごく感動しました。ここで私は１人の女の子と仲良くなりました。「言葉は通じなくても気持ちは通じる」ということを感じました。たった数分であれだけ仲良くなれたことが、とても嬉しかったです。